

関西聚 活動報告書



活動名：自然学習ゾーン整備

活動日：2020.5.26(火) 13:00～15:00

リーダー名：伊東 俊廣

報告者：伊東 俊廣

参加者：(一般参加者1人 スタッフ3人 美交工業1人(魚谷氏) 合計5人)

スタッフ：大川 英登、山本 勲、伊東 俊廣

一般参加者：岡さん

活動内容：

1. 昆虫保護ゾーンの整備

- 1) ウマノスズクサの移植(これを食草にしているジャコウアゲハの幼虫も放した)
- 2) 昆虫保護ゾーンのセイタカアワダチソウを抜き取り
- 3) 2回目に植えたススキの状況を確認したが、うまく根付かなかったようだ
- 4) まだ早いとはいえ、バッタ類を見かけなかった

2. モツパちゃんの森の植栽ゾーンへウマノスズクサを移植

2月に植えたシバグリの苗は、根がほとんど伐られた状態で移植したが、魚谷さんが世話をしてくれたこともあり、ようやく芽が出始めていた。

3. バックヤードの畑へ苗の移植

- 1) ウマノスズクサ
- 2) ヒサカキ(一昨年に森フィールドで採取したもの)

活動報告・感想など

久宝寺緑地は3月から活動を中止していたが、山本さんから育てているウマノスズクサを植えにしようとの提案があり、26日に行ける人で活動を行った。

ウマノスズクサも特異な形をしているが、ジャコウアゲハの幼虫もなかなか近寄りがたい雰囲気を持っている。昆虫保護ゾーンに植えることにしたが、駄目になった時も考え、モツパちゃんの森とバックヤードの畑でもそだてることにした。

昆虫保護ゾーンは枯れかかったオオスズメノカタビラの大群で、それに紛れてセイタカアワダチソウも沢山伸びていた。昨年度かなり抜いたはずだが、まだまだ大変だ。幸い手で引き抜けるので全員で作業を行った。次回ここはある高さで草刈りをする予定。

後日久宝寺から6月からの活動を再開する予定との連絡が入った。勿論新型コロナウイルスに対する予防をしての活動となる。

活動写真



昆虫保護エリアにジャコウアゲハの
幼虫放虫



ナナホシテントウムシ



ホシミスジ表面



クヌギ林へのウマノスズクサ移植



昆虫保護エリアにウマノスズクサの
移植



ホシミスジ裏面



モンシロチョウ交尾中



ヨモギハムシ



昆虫保護エリア整備



草引き



草引き



ノハラアザミ



バックヤードへのウマノスズクサ移植



バックヤードへのウマノスズクサ移植



バックヤードへのウマノスズクサ移植

🌸 たくさんのご参加、ありがとうございました！

※ブラウザを閉じてお戻りください☆